



## 【展示物名】 プラネタリウム（3Fプラネタリウムホール）

【該当する学年】 **小3** | **小4** | 小5 | **小6** | 中1 | 中2 | **中3**

【学習指導要領】 エネルギー | 粒子 | 生命 | **地球**

### <小学校3年>

(3) 太陽と地面の様子

日陰の位置の変化や、日なたと日陰の地面の様子を調べ、太陽と地面の様子との関係についての考えをもつことができるようにする。

### <小学校4年>

(4) 月と星

月や星を観察し、月の位置と星の明るさや色及び位置を調べ、月や星の特徴や動きについての考えをもつことができるようにする。

### <小学校6年>

(5) 月と太陽

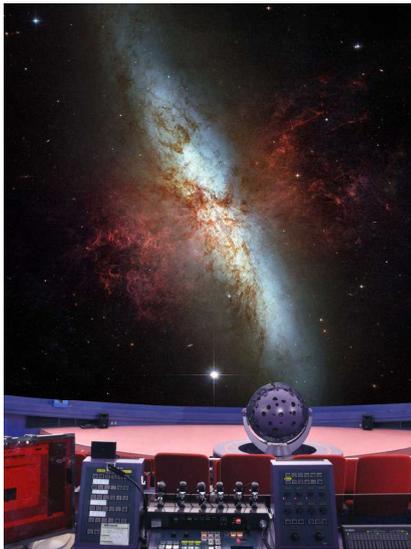
月と太陽を観察し、月の位置や形と太陽の位置を調べ、月の形の見え方や表面の様子についての考えをもつことができるようにする。

### <中学校3年>

(6) 地球と宇宙

身近な天体の観察を通して、地球の運動について考察させるとともに、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理解させ、太陽系や恒星など宇宙についての認識を深める。

## 【写真】



【プラネタリウムホール全体】



【恒星投映機 スーパーヘリオス】

## 【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 観察したい方角や月・惑星・恒星・星座などを自在に動かすことができるので、太陽の1日の動きや季節の変化、月の満ち欠けの規則性、時刻によって星の位置が変わることをダイナミックに表現できる。天体現象を継続的に観察するには、学校の授業においては限界がある。それを補うためには、有益な施設だと言える。

☆ **小学校3年「太陽と地面の様子」、小学校4年「月と星」、小学校6年「月と太陽」**で扱う天体現象がどのように見え、繰り返されているのかを実感させることができる。

☆ **中学校3年「地球と宇宙」**で学習する太陽や星座の日周運動、季節ごとの星座の位置の変化を**繰り返し再現することができるため**、天体の位置の変化や運動について相対的にとらえ、天文現象が起こる仕組みについて**自ら思考する力を養う**ことができる。